



GREEN LETTER

グリーンレター

Vol. 269

2019/06/01

今月の一枚

今月のイベント

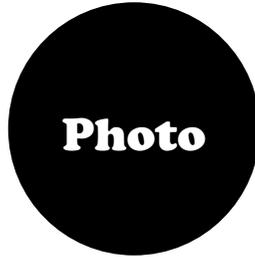
参加者募集

GREEN COLUMN

01. マイクロプラスチック
02. 河原の石ころについて知ろう



今月の一枚



「かくれんぼの達人」

表紙写真・文／町田善康

地域の人から自分の山に鳥が巣を作ったと聞いて、どんな種類の鳥なのか見に行きました。その鳥は、地面に巣を作っているらしく、少し近づいてみた方がいいと、その人について藪をかき分け進んでいきます。そして、「ほれ、そこの木の根元だよ」と言われ、探してみますが、見つかりません。よくよく目を凝らしてみると、見つかりました。おー！これはすごい。ヤマシギだ。

さて、あなたは写真の中にいる鳥を見つけられますか？

Event. 今月のイベント

企画展「絵を描く心～岸本裕躬作品より」～10月20日（日）

博物館講座（芸術編）「植物で絵の具をつくろう」 6月22日（土）

プチ工房「トリックアートをつくろう」 6月26日（水）, 28日（金）

Information. 参加者募集

博物館講座（芸術編）「植物で絵の具をつくろう」

【体験会】 ● 6/22（土）10:00 - 12:00 ● 美幌博物館 1F 講座室 ● 材料費（300円） ● 久保田結衣 ● 美幌博物館へ電話申込み（6/1-6/21）。対象は中学生から一般。小学生も参加可能ですが、小学3年生以下は保護者の同伴が必要, 定員20名で締切。

プチ工房 「トリックアートをつくろう」

● 6/26（水）, 28（金）10:00-12:00, 14:00-16:00 自由に入室。作品ができたら終了 ● 美幌博物館 1F 講座室 ● 材料費（300円） ● 鬼丸和幸（美幌博物館） ● 申込み不要。小学校3年生以下は保護者の同伴が必要。

博物館講座（自然編）「美幌の石ころ標本作り」

【体験会】 ● 7/14（日）10:00-12:00 ● 美幌町内（集合解散は美幌博物館） ● 保険料・材料代（250円）, 野外で活動できる服装（長そで, 長ズボン, 帽子）, 長靴, 虫除け, 飲み物, 雨天時は雨具 ● 東豊土（日高山脈博物館） ● 美幌博物館へ電話申込み（6/1-7/10）。キャンセルは7/10まで。それ以降は保険料100円がかかります。対象は中学生から一般。小学生も参加可能ですが、小学3年生以下は保護者の同伴が必要, 定員25名で締切。

今月の休館日

3日, 10日
17日, 24日

〈凡例〉 ●日時 ●場所 ●費用, 持ち物 ●講師 ●申込み方法

01 GREEN COLUMN グリーンコラム

マイクロプラス チック

写真・文／町田善康



レイチェル・カーソンの著書「沈黙の春」。本書は、自然を破壊し、人体をむしばむ化学物質の乱用の恐ろしさについて、初めて警笛を鳴らしました。出版されて以降、人類は化学物質による環境問題を解決するために、今なお有効な手立てを探っています。そして近年、これに次ぐ、新たな問題として取り上げられるようになったのが、マイクロプラスチック（MP：直径5mm以下のプラスチックごみ）です。MPの発生源には、洗顔料や歯磨き粉に含まれる5mm以下で製造されるマイクロビーズ（1次MP）と、プラスチック製品が劣化してバラバラになったもの（2次MP）の2種類があります。今日、これらのMPは、51兆個が海洋を漂っていると言われ、この数は銀河系の星の約500倍の数にあたります。

そして、このMPの大きな問題は、

木材や草などとは異なり、いくら小さくなくても完全に分解されることがないことです。そのため、MPを小さな生き物が食べ、さらにその小さな生き物を大きな生き物が食べることで、生態系全体に汚染が広がっていきます。また、MPは、残留性有機汚染物質を吸着する性質があり、これを食べた生き物が死亡するという報告もあります。

このように様々な環境問題を引き起こすMPの汚染は、これまで海洋だけの問題だと考えられていましたが、2019年に日本の川にもMPが存在することが明らかになりました。そのため、今年は、北海道e-水プロジェクトより助成いただき、網走川でもMPの調査を実施します。結果がわかれば、皆さんにお知らせしたいと思います。

02 GREEN COLUMN グリーンコラム

河原の石ころに ついて知ろう

写真・文／城坂結実



美幌町の名前の由来は、一説に、アイヌ語のペッ・ポロ petporo (川・多い) と言われています。網走川と美幌川にはさまれるようにして広がる美幌町の市街地や、町内のいたるところにある川を見ると、なるほど“ペッポロ”にも頷けます。

そんな美幌町の川で、石ころについて学ぶ博物館講座「美幌町の石ころ標本作り」を7月14日(日)10時～12時に開催します。講師には、岩石の専門家である日高山脈博物館の東豊土さんをお招きします。

石ころはとても身近な存在です。自分自身を振り返ってみても、小学生の頃、通学中に石ころを蹴りながら歩いていたのを思い出します。みなさんにも、石ころで遊んだ思い出が一つや二つはあるのではないのでしょうか。

川原や川の中を見ても、様々な色や質感をした石ころがあることに気

がつきます。どうしてこのように様々な石ころがあるのでしょうか。博物館講座を通して、身近なナゾに迫ってみたいと思います。見つけた石で、自分だけの石ころ標本箱も作ります。

博物館講座の内容は中学生以上向けですが、小学生でも保護者と一緒に参加することができます。夏休みの自由研究のヒントがつかめるかもしれません。

参加希望の方は、美幌博物館までお申し込みください。申し込みの受け付けは、6月1日(土)9:30～7月10日(水)17:00までです。参加費は250円。みなさんのご参加をお待ちしています！

【発行】

美幌博物館

【デザイン・編集】

城坂結実・八重柏誠

【お問い合わせ先】

美幌博物館

北海道網走郡美幌町字みどり 253 - 4

Tel / 0152 (72) 2160 Fax / 0152 (72) 2162

mail / museum@town.bihoro.hokkaido.jp

<http://http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/bunya/museum/>

無断掲載・転載を禁ずる

学芸員のつぶやき



愛用の長靴に小さな穴が開きました。先日、研修で農業体験をする時に「水仕事でないからいいや」とこの長靴で出かけたところ、「ハウス前で長靴を洗ってください」と言われました。靴下が濡れないかドキドキしました。(城坂)